

工 事 成 績 採 点 表 [完成、一部完成]

部 課

工事番号		工事名										工事場所														
請負者		契約年月日					平成 年 月 日					工 期					平成 年 月 日～平成 年 月 日									
請負代金額(最終)		完成年月日					平成 年 月 日					検査年月日					平成 年 月 日									
考 査 項 目		正 監 督 員					主 任 監 督 員					総 括 監 督 員					検査員 (既済・中間)					検査員 (完成)				
		氏名 ㊦					氏名 ㊦					氏名 ㊦					氏名 ㊦					氏名 ㊦				
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般		+1.5	0	-5.0	-10		+1.5	0	-5.0	-10															
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10															
2. 施工状況	I. 施工管理		+1.5	0	-5.0	-10		+1.5	0	-5.0	-10						+5.0	+2.5	0	-5.0	-15	+5.0	+2.5	0	-5.0	-15
	II. 工程管理	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	+10	+5.0	0	-7.5	-15										
	III. 安全対策	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10	+15	+7.5	0	-7.5	-15										
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0															
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0						+10	+5.0	0	-10	-20	+10	+5	0	-10	-20
	II. 品質	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0						+15	+7.5	0	-15	-30	+15	+7.5	0	-15	-30
	III. 出来ばえ																+5.0	+2.5	0	-2.5		+5.0	+2.5	0	-2.5	
4. 高度技術	I. 高度技術力※2						+	(26)	0																	
5. 創意工夫	I. 創意工夫※2						+	(14)	0																	
6. 社会性等	I. 地域へ貢献等※3											+10	+5	0												
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		± . 点					± . 点					± . 点					± . 点					± . 点				
評定点 (65±加減点合計) ※1		① . 点					② . 点					③ . 点					④ . 点					⑤ . 点				
7. 評 定 点 小 計		① × 0.2 . 点					② × 0.2 . 点					③ × 0.2 . 点					(既済・中間)が2回以上の場合は平均値 既済部分(中間)検査があった場合 : ⑤×0.2 (中間)検査がなかった場合 : ⑤×0.4 . 点									
8. 法 令 遵 守 等 ※6												- 点														
9. 評 定 点 合 計		_____点					○ 7. 評定点小計の和 (_____点)					- 8. 法令遵守等 (_____点)					= _____点									
所 見 ※4		(正監督員)					(主任監督員)					(総括監督員)					(検査員<既済・中間>)					(検査員<完成>)				

※1 評定点小計は評定点(65±加減点合計)に0.2~0.4を乗じ、少数第二位を四捨五入し、少数第一位まで記入する。
 ※2 高度技術及び創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評定内容の記述方法とし、加点評価のみとする。評価にあたっては、工事担当課内での合議をもって行うものとする。
 ※3 社会性等の評価では地域への観点から、加点評価のみとする。
 ※4 所見は必ず記載する。
 ※5 各検査項目ごとの採点は、正監督員は別紙-2-1-1~別紙-2-7、主任監督員は別紙-2-2-1~別紙-2-10、総括監督員は別紙-3-1~別紙-3-3、検査員は別紙-4-1~別紙-4-23それぞれの項目により採点を行う。 検査員による完成検査の評価に先立ち担当監督員、主任監督員、総括監督員が記入する。
 ※6 法令遵守等の評価は総括監督員が行い、減点評価のみとする。
 ※7 評定点合計は、少数第1位を四捨五入し、整数とする。

細目別評定点採点表

項目	細別	①正監督員	②主任監督員	③総括監督員	④検査員(既済・中間)	⑤検査員(完成)	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点				3.2点	
	II. 配置技術者	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点				3.8点	
2. 施工状況	I. 施工計画	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	11.7点	
	II. 工程管理	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 4.3 = 点			9.3点	
	III. 安全対策	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 4.3 = 点			10.7点	
	IV. 対外関係	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点				3.4点	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	13.9点	
	II. 品質	() × 0.2 + 1.3 = 点	() × 0.2 + 1.3 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	15.9点	
	III. 出来ばえ				() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	8.5点	
4. 高度技術	I. 高度技術力		() × 0.2 + 2.6 = 点				7.8点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫		() × 0.2 + 2.6 = 点				5.4点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等			() × 0.2 + 4.4 = 点			6.4点	
7. 法令遵守等				() × 1.0 = 点				
評定点合計							100点	

※ 既済部分(中間)検査があった場合 (①+②+③+④×0.5+⑤×0.5) =細目別評定点(既済、中間が2回以上の場合は④を平均する)
 既済部分(中間)検査がなかった場合 (①+②+③+⑤) =細目別評定点

※ 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(正 監 督 員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 提出書類が宇治市で定めている様式で提出されている。 <input type="checkbox"/> 請負代金内訳書及び工程表が契約後7日以内に提出されている。 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 打合簿が速やかに提出されている。 <input type="checkbox"/> 工事月報が上半期は20日、下半期は5日までに提出されている。 <input type="checkbox"/> 履行報告書が翌月5日までに提出されている。 <input type="checkbox"/> 材料使用前に使用材料通知書等で材料の品質・規格が確認できる書類（材料承認願、生コン配合表、鋼材ミルシート等）が提出され、その内容が適正である。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が運営実績報告書等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 施工体系図を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度施工体系図を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳（添付書類を含む）を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度、施工体制台帳（添付書類を含む）を提出している。 <input type="checkbox"/> 下請通知書（添付書類を含む）を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度、下請通知書（添付書類を含む）を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体系図と現場が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置が行われ、計画工程どおり施工が行われた。 <input type="checkbox"/> 請負工事賠償責任保険、火災保険等に加入し、加入が確認できる書面の写し等が提出されている。 <input type="checkbox"/> 現場で、施工体系図・建退共適用事業主工事現場標識・建設業の許可票・労災保険関係成立票の掲示が行われており、その内容を確認できる写真等が提出されている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）				<input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、監督職員から文書により改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 施工管理が不備であり、監督職員から文書により改善指示を行った。
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	注 施工体制台帳は設計金額6000万円以上、又は下請負金額3000万円以上の場合提出が必要である。 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	上記該当があれば「e」と評価する			
	判定	該当項目が 80%以上 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d				

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(正 監 督 員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている		技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	その他が評価できる 場合は、必ず理由を 記入する	<p>〔評価対象項目〕</p> <input type="checkbox"/> 現場代理人として常駐している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として工事全体の把握ができていない。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面等で行っていない。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に行われていない。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫の提案があり、その内容が確認できる書類、写真等が提出されていない。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、契約書、設計図書、関係基準等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、設計図書の照査を十分行い現場との相違があった場合は適正に対応している。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、騒音・埃等、豪雨・暴風等、軟弱地盤、湧水等の対策を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場作業において、労働安全衛生規則に定める作業に作業主任者を選任し配置している。(労働安全衛生法第14条) <input type="checkbox"/> 元請負者の配置技術者(主任技術者または、監理技術者)として、下請の施工体制、施工状況を把握し、技術指導力がある。 <input type="checkbox"/> 元請負者の配置技術者(主任技術者または、監理技術者)として、技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 専門技術者(専門工事を施工するため必要な主任技術者)を専任し、配置している。(建設業法第26条の2) <input type="checkbox"/> 下請負金額が2500万円以上(建築一式は5000万円以上)の工事において、下請負人の主任技術者が専任している。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)					<input type="checkbox"/> 改善指示を文書で行ったにもかかわらず、現場代理人が常駐していない。 <input type="checkbox"/> 改善指示を文書で行ったにもかかわらず、専門技術者が配置されていない。
	判定	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . b 該当項目が 60%以上80%未満 . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。			上記該当があれば「e」と評価する	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(正 監 督 員)				
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
			施工計画が適切である	他の事項に該当しない	施工計画がやや不備である	施工計画が不備である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から4号に係わる設計図書の照査を行い、設計図書と工事現場の状態が異なる場合、設計図書の表示が不明確な場合、設計図書に示された施工条件が実際と一致しない場合、工事の施工条件について予期し得ない特別の状態が生じた場合等においては書面で監督職員に通知し監督職員の確認を受けて施工を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事着手前に施工計画書が提出され、監督職員の確認を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 当初施工計画書において、内容の変更があった場合、その内容についての変更施工計画書を適時提出し、監督職員の確認を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な施工方法が記載され、かつ施工計画書に記載された施工方法が現場で実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な仮設計画(仮設図、応力計算書、施工方法等)が記載され、かつ施工計画書に記載された仮設計画が現場で実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な仮設備計画が記載され、かつ施工計画書に記載された仮設備が現場で施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な出来形管理の方法、規格値等が記載されており、施工計画書どおりの出来形管理が適時適正に行われ、かつ規格等を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な品質管理の方法、規格値等が記載されており、施工計画書どおりの品質管理が適時適正に行われ、かつ規格等を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な写真撮影工種、項目、撮影頻度(時期)等が記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に記載されている内容どおり、写真撮影が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 段階確認・立会確認が適時適正に行われ、かつ「段階確認書」、「立会確認書」と「確認内容が把握できる写真」による報告が適時適正になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 排出ガス対策型建設機械、並びに特記仕様書で使用を義務付けられた機械及び車両等(低騒音型、規格等)について、施工計画書に指定機械と使用機械の記載を行い、工事全体で使用し、その内容が確認できる写真等の提出が適時適正に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員が確認した施工計画書が、工事現場で携帯されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の確認が適時適正に行われ、「材料確認書」と「確認内容が把握できる写真」により報告が適時適正になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書(特記仕様書等)により品質保証を要求した工事材料について品質証明書、産地証明書、品質に関する記録または、写真等が適時適正に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適正で、提出書類等が適時適正に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設発生土が適正に処分され、提出書類等が適時適正に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。</p> <p>上記該当があれば「d」と評価する</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記該当があれば「e」と評価する</p>
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	<p>該当項目が 80%以上 b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満 . c</p> <p>該当項目が 60%未満 d</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p> </div>				
	判定					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(正 監 督 員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が適切である 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 計画工程表は、工事全般にわたり綿密にたてられ、各工程と全体との整合がとれていた。 <input type="checkbox"/> 請負者の責に帰することができない事由による状況変化への対応が迅速に行われた。 <input type="checkbox"/> 関連工事や地元との工程調整を積極的に行うなど、現場作業の円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> 定められた作業時間以外の作業が少なく、計画工程どおりに工事を完成した。 <input type="checkbox"/> 計画工程表の補足として、月間又は週間工程表を適時作成し、工程管理に努めた。 <input type="checkbox"/> 計画工程を着実に守り工事を完了した。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 作業時間の変更、休日等の施工を行う際は、事前に監督職員と適時適正に協議し承諾を得ており、その内容が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工方法、施工体制等を工夫する事で、標準工期より早く工事が完了した。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . . b 該当項目が 60%以上80%未満 . . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	□ 自主的な工程管理を行っていない。	□ 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。	
	判定				上記該当があれば「d」と評価する	上記該当があれば「e」と評価する

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(正 監 督 員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	III. 安全対策	安全対策を適切に行った 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 施工計画書に具体的な安全管理の方法(月当り半日以上)の安全研修・訓練等、工事期間中の安全巡視、日々の安全活動等)が記載されている。 <input type="checkbox"/> 作業員全員の参加による安全に関する研修・訓練を月あたり半日以上)の時間を割り当て実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間中、安全巡視を実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 日々の安全管理活動として安全朝礼、KY、安全点検、安全訓練等を実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 工事箇所及びその周辺の地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して支障をきたさないよう必要な措置を講じた。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 自然災害防止等のため臨機の措置が必要となった場合、速やかに必要な措置を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に、設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(道路幅員、交通量等)を反映した具体的な交通規制図(道路工事保安施設、交通誘導員等配置図など)等が記載され、かつ施工計画書に記載された交通安全管理の内容を現場で実施し、その内容が確認できる写真が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> 歩行者に対する安全確保が適正になされている。 <input type="checkbox"/> 落下物の防止等の安全措置が的確になされている。 <input type="checkbox"/> 建設機械、車両等の使用にあたり「作業開始時」の定期自主検査等が行われ、その内容が書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書に記載された工事の目的が保安施設等に明記され、その内容が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> および、保安施設等の設置が適正で、歩行者等の障害になっていない。 <input type="checkbox"/> 舗装仮復旧の状態が良好である。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
	<p>そのほか評価できる場合は、必ず理由を記入する</p> <p>判定</p>	<p>該当項目が 90%以上 a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満 . b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満 . c</p> <p>該当項目が 60%未満 d</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>上記該当があれば「d」と評価する</p>	<p>上記該当があれば「e」と評価する</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(正 監 督 員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
		<p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等との折衝及び調整を適時適正に行った。または、折衝及び調整に必要な資料作成を適時適正に行った。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関との協議が必要となった連絡事項、届出手続き等が適時適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、学校、保育所、幼稚園、または消防署等へ日々の施工内容について連絡調整を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事着工前に工事案内ピラ等の配布を適時適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、工事説明、工事協力要請、工事調整等を戸別に訪問して適時適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 商店、病院等がある場合、商店の営業日、営業時間および病院等の診察日、診察時間を配慮して施工を行った。または、営業中、診察中の看板等を設置するなど商店、病院等に対して配慮した。 <input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）が、主体的に地元調整を行っている。 <input type="checkbox"/> 私有地に立ち入る場合は、当該土地の所有者の承諾を得ている。 <input type="checkbox"/> 車両等の出入りについて、地元調整を適時適正に行った。 <input type="checkbox"/> 住民説明会等で取り決めた、または、工事ピラに記載されている作業条件等の制約を遵守している。 <input type="checkbox"/> 工事箇所が点在する、または工事範囲が広い場合、計画どおりの順序で施工し地元からの苦情がなかった。また、やむを得ず施工順序を変更する場合はその都度、適時適正に地元広報を行った。 <input type="checkbox"/> 工事に関する苦情がなかった。 <input type="checkbox"/> 苦情に対して速やかに適正に対応し、苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与しており、工事調整をおこなった事が確認できる書類等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 工事着工前に既設構造物などのクラック等を調査し、監督職員にその調査結果を書類、写真で適時適正に報告している。 <input type="checkbox"/> 生垣等を破損しないよう、または、建設機械等の排気で生垣等が枯れないように、配慮して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 乳剤、コンクリート等が飛散しないよう、または、材料、コンクリート切断時の粉塵等が飛散しないよう、配慮して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書にタバコの吸殻対策、トイレ対策等が記載され、その内容が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 		<p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して発注者の指示にしたがわなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。または、対応が悪くトラブルがあった。</p>	<p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書により指示を行った。</p>	
<p>その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する</p>	<p>該当項目が 90%以上 a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満 . b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満 . c</p> <p>該当項目が 60%未満 d</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>上記該当があれば「d」と評価する</p>	<p>上記該当があれば「e」と評価する</p>		
	判定					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e		
1. 施工体制	I. 施工体制一般	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 打合簿が速やかに提出されている。 <input type="checkbox"/> 工事月報が上半期は20日、下半期は5日までに提出されている。 <input type="checkbox"/> 履行報告書が翌月5日までに提出されている。 <input type="checkbox"/> 材料使用前に使用材料通知書等で材料の品質・規格が確認できる書類（材料承認願、生コン配合表、鋼材ミルシート等）が提出され、その内容が適正である。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が運営実績報告書等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 施工体系図を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度施工体系図を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳（添付書類を含む）を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度、施工体制台帳（添付書類を含む）を提出している。 <input type="checkbox"/> 下請通知書（添付書類を含む）を作成し、施工前に提出している。また、記載内容に変更が生じた場合は、その都度、下請通知書（添付書類を含む）を提出している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置が行われ、計画工程どおり施工が行われた。 <input type="checkbox"/> 請負工事賠償責任保険、火災保険等に加入し、加入が確認できる書面の写し等が提出されている。 <input type="checkbox"/> 現場で、施工体系図・建退共適用事業主工事現場標識・建設業の許可票・労災保険関係成立票の掲示が行われており、その内容を確認できる写真等が提出されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
		施工体制が適切である		他の事項に該当しない		施工体制がやや不備である		施工体制が不備である
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する		注 施工体制台帳は設計金額6000万円以上、又は下請負金額3000万円以上の場合提出が必要である。 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					
	判定	該当項目が 80%以上 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d					上記該当があれば「e」と評価する	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている 技術者がほぼ適切に配置されている 他の事項に該当しない 技術者の配置がやや不備である 技術者の配置が不備である (評価対象項目) <input type="checkbox"/> 現場代理人として常駐している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として工事全体の把握ができていない。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面等で行っている。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫の提案があり、その内容が確認できる書類、写真等が提出されている。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、契約書、設計図書、関係基準等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、設計図書の照査を十分行い現場との相違があった場合は適正に対応している。 <input type="checkbox"/> 元請負者の現場代理人及び配置技術者(主任技術者または、監理技術者)が、騒音・埃等、豪雨・暴風等、軟弱地盤、湧水等の対策を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場作業において、労働安全衛生規則に定める作業に作業主任者を選任し配置している。(労働安全衛生法第14条) <input type="checkbox"/> 元請負者の配置技術者(主任技術者または、監理技術者)として、下請の施工体制、施工状況を把握し、技術指導力がある。 <input type="checkbox"/> 元請負者の配置技術者(主任技術者または、監理技術者)として、技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 専門技術者(専門工事を施工するため必要な主任技術者)を専任し、配置している。(建設業法第26条の2) <input type="checkbox"/> 下請負金額が2500万円以上(建築一式は5000万円以上)の工事において、下請負人の主任技術者が専任している。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . b 該当項目が 60%以上80%未満 . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	<input type="checkbox"/> 改善指示を文書で行ったにもかかわらず、現場代理人が常駐していない。 <input type="checkbox"/> 改善指示を文書で行ったにもかかわらず、専門技術者が配置されていない。	上記該当があれば「e」と評価する	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から4号に係わる設計図書の照査を行い、設計図書と工事現場の状態が異なる場合、設計図書の表示が不明確な場合、設計図書に示された施工条件が実際と一致しない場合、工事の施工条件について予期し得ない特別の状態が生じた場合等においては書面で監督職員に通知し監督職員の確認を受けて施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事着手前に施工計画書が提出され、監督職員の確認を得ている。 <input type="checkbox"/> 当初施工計画書において、内容の変更があった場合、その内容についての変更施工計画書を適時提出し、監督職員の確認を得ている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な施工方法が記載され、かつ施工計画書に記載された施工方法が現場で実施されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な仮設計画(仮設図、応力計算書、施工方法等)が記載され、かつ施工計画書に記載された仮設計画が現場で実施されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(地下埋設物、道路幅員等)を反映した具体的な仮設備計画が記載され、かつ施工計画書に記載された仮設備が現場で施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な出来形管理の方法、規格値等が記載されており、施工計画書どおりの出来形管理が適時適正に行われ、かつ規格等を満足している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な品質管理の方法、規格値等が記載されており、施工計画書どおりの品質管理が適時適正に行われ、かつ規格等を満足している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に設計図書(特記仕様書等)及び施工管理基準を反映した具体的な写真撮影工種、項目、撮影頻度(時期)等が記載されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に記載されている内容どおり、写真撮影が行われている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 段階確認・立会確認が適時適正に行われ、かつ「段階確認書」、「立会確認書」と「確認内容が把握できる写真」による報告が適時適正になされている。 <input type="checkbox"/> 排出ガス対策型建設機械、並びに特記仕様書で使用を義務付けられた機械及び車両等(低騒音型、規格等)について、施工計画書に指定機械と使用機械の記載を行い、工事全体で使用し、その内容が確認できる写真等の提出が適時適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の確認が適時適正に行われ、「材料確認書」と「確認内容が把握できる写真」により報告が適時適正になされている。 <input type="checkbox"/> 契約図書(特記仕様書等)により品質保証を要求した工事材料について品質証明書、産地証明書、品質に関する記録または、写真等が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適正で、提出書類等が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> 建設発生土が適正に処分され、提出書類等が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)				<input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 上記該当があれば「d」と評価する
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	該当項目が 80%以上 b 該当項目が 60%以上80%未満 . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書により改善指示を行った。 上記該当があれば「e」と評価する		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が適切である 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 計画工程表は、工事全般にわたり綿密にたてられ、各工程と全体との整合がとれていた。 <input type="checkbox"/> 請負者の責に帰することができない事由による状況変化への対応が迅速に行われた。 <input type="checkbox"/> 関連工事や地元との工程調整を積極的に行うなど、現場作業の円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> 定められた作業時間以外の作業が少なく、計画工程どおりに工事を完成した。 <input type="checkbox"/> 計画工程表の補足として、月間又は週間工程表を適時作成し、工程管理に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業時間の変更、休日等の施工を行う際は、事前に監督職員と適時適正に協議し承諾を得ており、その内容が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工方法、施工体制等を工夫する事で、標準工期より早く工事が完了した。 <input type="checkbox"/> その他（理由：	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	<input type="checkbox"/> 自主的な工程管理を行っていない。 上記該当があれば「d」と評価する	<input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。 上記該当があれば「e」と評価する	
	判定					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	III. 安全対策	安全対策を適切に行った 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 施工計画書に具体的な安全管理の方法(月当り半日以上)の安全研修・訓練等、工事期間中の安全巡視、日々の安全活動等)が記載されている。 <input type="checkbox"/> 作業員全員の参加による安全に関する研修・訓練を月あたり半日以上)の時間を割り当て実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間中、安全巡視を実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 日々の安全管理活動として安全朝礼、KY、安全点検、安全訓練等を実施し、かつその内容が確認できる書類、写真等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 工事箇所及びその周辺の地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して支障をきたさないよう必要な措置を講じた。 <input type="checkbox"/> 自然災害防止等のため臨機の措置が必要となった場合、速やかに必要な措置を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に、設計図書(特記仕様書等)及び現場条件(道路幅員、交通量等)を反映した具体的な交通規制図(道路工事保安施設、交通誘導員等配置図など)等が記載され、かつ施工計画書に記載された交通安全管理の内容を現場で実施し、その内容が確認できる写真が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> 歩行者に対する安全確保が適正になされている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書に記載された工事の目的が保安施設等に明記され、その内容が写真で確認できる。および、保安施設等の設置が適正で、歩行者等の障害になっていない。 <input type="checkbox"/> 舗装仮復旧の状態が良好である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . b 該当項目が 60%以上80%未満 . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	上記該当があれば「d」と評価する	上記該当があれば「e」と評価する	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(主任監督員)				
調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が適切であった [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等との折衝及び調整を適時適正に行った。または、折衝及び調整に必要な資料作成を適時適正に行った。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関との協議が必要となった連絡事項、届出手続き等が適時適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、学校、保育所、幼稚園、または消防署等へ日々の施工内容について連絡調整を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事着工前に工事案内ビラ等の配布を適時適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、工事説明、工事協力要請、工事調整等を戸別に訪問して適時適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 商店、病院等がある場合、商店の営業日、営業時間および病院等の診察日、診察時間を配慮して施工を行った。または、営業中、診察中の看板等を設置するなど商店、病院等に対して配慮した。 <input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）が、主体的に地元調整を行っている。 <input type="checkbox"/> 私有地に立ち入る場合は、当該土地の所有者の承諾を得ている。 <input type="checkbox"/> 車両等の出入りについて、地元調整を適時適正に行った。 <input type="checkbox"/> 住民説明会等で取り決めた、または、工事ビラに記載されている作業条件等の制約を遵守している。 <input type="checkbox"/> 工事箇所が点在する、または工事範囲が広い場合、計画どおりの順序で施工し地元からの苦情がなかった。また、やむを得ず施工順序を変更する場合はその都度、適時適正に地元広報を行った。 <input type="checkbox"/> 工事に関する苦情がなかった。 <input type="checkbox"/> 苦情に対して速やかに適正に対応し、苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与しており、工事調整をおこなった事が確認できる書類等が適時適正に提出または、提示されている。 <input type="checkbox"/> 生垣等を破損しないよう、または、建設機械等の排気で生垣等が枯れないように、配慮して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 乳剤、コンクリート等が飛散しないよう、または、材料、コンクリート切断時の粉塵等が飛散しないよう、配慮して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書にタバコの吸殻対策、トイレ対策等が記載され、その内容が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . b 該当項目が 60%以上80%未満 . c 該当項目が 60%未満 d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	上記該当があれば「d」と評価する	上記該当があれば「e」と評価する	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(正監督員・主任監督員)				
審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	土木工事	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが少なく規格値の50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の50%を超え80%以内である。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、監督職員による改善指示があった場合。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、契約書第17条第2項に基づき(破壊検査)に準ずるものがあった場合。 上記該当あれば・・・ e
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ 規格値によるばらつき判断しない場合はc評価とする。				
	建築工事 設備工事	a	b	c	d	e
	出来形管理が適切である その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	出来形管理が適切である 出来形管理がほぼ適切である 他の項目に該当しない 出来形管理がやや不備である 出来形管理が不備である	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 出来形管理図(施工図・承認図)または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定されており、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 創意工夫を持って適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値(設計図書)を満足している。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			
		該当項目が 90%以上・・・ a 該当項目が 80%以上90%未満・・・ b 該当項目が 60%以上80%未満・・・ c 該当項目が 60%未満・・・ d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(正監督員・主任監督員)				
審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土木工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少なく規格値の50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内である。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。 ※ ばらつきの判断は別図参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定	① 品質の評価は、工事全般を通したものとす。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」等の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。 ④ 規格値によるばらつき判断をしない場合はc評価とする。				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(正監督員・主任監督員)				
審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事 (新築)	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕 【躯体工事】 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕 【仕上工事】 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	判定	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上90%未満・・・b 該当項目が 60%以上80%未満・・・c 該当項目が 60%未満・・・d</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				
	建築工事 (改修)	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
	判定	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上90%未満・・・b 該当項目が 60%以上80%未満・・・c 該当項目が 60%未満・・・d</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(正監督員・主任監督員)				
審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備 工事 空調設備 工事	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	<p>【機材】</p> <input type="checkbox"/> 機材の品質・形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
	判定	<p>【施工】</p> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		該当項目が 90%以上・・・ a 該当項目が 80%以上90%未満・・・ b 該当項目が 60%以上80%未満・・・ c 該当項目が 60%未満・・・ d				
	電気設備 工事	品質管理が適切である 〔評価対象項目〕	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	<p>【機材】</p> <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
	判定	<p>【施工】</p> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		該当項目が 90%以上・・・ a 該当項目が 80%以上90%未満・・・ b 該当項目が 60%以上80%未満・・・ c 該当項目が 60%未満・・・ d				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	〔事例〕 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 高度技術	I. 高度技術 キーワード 評価 土木工事	<input checked="" type="checkbox"/> 構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚さやトンネル線形等を含む） <input type="checkbox"/> 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	[事例] 構造物固有な施工難度と対応工夫等] ・ 地山強度が低い。また土被りが少ないため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 ・ 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 ・ 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等。 ・ 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 ・ パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 ・ その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等。 ・ VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 ・ 構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。
		<input checked="" type="checkbox"/> 技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	[事例] 自然及び地盤条件への対応工事等] ・ 河川内の橋脚工事で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備のほか、大規模な山留め工法が必要な工事。 ・ 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施するほか、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・ 軟弱地盤上の暖速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 ・ 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に施工した工事。 ・ 河川内のため、設計図書で計上する以上に気象等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。
		<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 湧水の発生・地下水の影響（地盤掘削時） <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> 地滑り等の地質条件、急流河川での水流の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	[事例] 周辺環境や社会条件の施工現場での対応が必要になった工事等] ・ 横断函渠工事や電線地中化工事等の現場開削工事で、ガス管、水道管、電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 ・ 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 ・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・ 市街地での夜間工事。 ・ D I D地区での工事。 ・ 供用中の道路（概ね日交通量1万台以上）で片側交互交通の交通規制をした工事。 ・ 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 ・ 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 ・ 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 ・ 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。 ・ 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 ・ 工事に先立ち又は施工中で、監視、観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 ・ 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 ・ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 ・ 酸欠、有毒、可燃性ガス等の対策が必要な工事、又は地上、水面から10m以上（10m以下）での工事。 ・ 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。 ・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。
		<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線、使用中の道路、架空線、建設物等の近接物 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 生活道路を利用しての資材搬入等の工事用道路の制約、路面履工下、高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 現道上で特に交通規制及びその処理に伴う作業騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	<input checked="" type="checkbox"/> 施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項（理由： ）		
	[記述評価] レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述	評点： _____ 点 ・ 高度な技術力は加点点評価とする。 ・ 加点点評価は+26点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・ 1項目4点を目安とするが、内容によってはそれ以上又は以下の点数を与えてもよい。	[高度技術のキーワードの評価]

高度な技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術を要する工事を施工する技術力を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

詳細評価の記述にあたっては、課内協議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。

高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価はしなかったものを対象とする。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 高度技術	I. 高度技術 キーワード 評価 建築・ 設備工事	■ 施工規模への対応 □ 対象構造物の高さ、施工面積等の規模 □ 対象構造物の形状の複雑さ □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・延面積10,000㎡以上の建物 ・地上9階以上の建物 ・地下2階以上の建物 ・大空間のホール等を有する建物 ・研究所等、特殊設備・機能を持つ建物
		■ 構造物固有の難しさへの対応 □ 対象構造物の耐震レベル □ 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において、I類及びA類に属する工事 ・電気設備工事で同基準において甲類に属する工事 ・機械設備工事で同じく甲類に属する工事 ・耐震及び免震構造の工事
		■ 技術固有の難しさへの対応 □ 工種及び工法の特殊性 □ 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・その他、特殊な工法及び材料を用いた工事等 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合
		■ 厳しい自然・地盤条件への対応 □ 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） □ 軟弱地盤、支持地盤の状況 □ 工事用道路、作業スペース等の制約 □ 雨・雪・風・気温等の影響 □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術がある工事
		■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 □ 地中埋設物等、地中の作業障害物 □ 工事の影響に配慮すべき鉄道、使用中の道路、架空線、建築物等の近接物 □ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 □ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 □ 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 □ 現道上で特に交通規制及びその処理に伴う作業 □ 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 ・工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち又は施工中に、監視、観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・大気圧を超える気圧下の作業室での工事 ・酸欠、有毒、可燃性ガス等の対策が必要な工事、又は地上、水面から10m以上（10m以下）での工事 ・工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術がある工事
		■ 施工現場での対応 □ 災害等での臨機の処置 □ 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 □ その他（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の請負者が複数ある工事 ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
	■ その他 □ その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項（理由：_____）	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する技術 	
	〔記述評価〕 レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述	<p>評点：_____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な技術力は加点点評価とする。 ・加点点評価は+26点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・1項目4点を目安とするが、内容によってはそれ以上又は以下の点数を与えてもよい。 	〔高度技術のキーワードの詳細〕

高度な技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術を要する工事を施工する技術力を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。詳細評価の記述にあたっては、課内協議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。

高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価はしなかったものを対象とする。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(主任監督員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	細別	施工性	品質	安全性	作業環境	その他(項目記載)	具体的事由等		
5. 創意工夫 【軽微なもの】 キーワード 評価	I. 創意工夫 キーワード 評価	■ 準備・後片付け関係							
		<input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		■ 施工関係							
		<input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 部材、機材等の運搬、吊り方式等を含む施工方法等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 設備工事で、加工、組立等の工夫又は電気工事の配線、配管等での工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 給排水、衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 照明、視界確保等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮施工関係の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		■ 品質関係							
		<input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 土工関係、設備関係、電気関係の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> コンクリートの打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来高、品質等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 配筋・溶接作業等に関する工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		■ 安全衛生関係							
		<input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 供用中の道路等の事故防止、一般車輛突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
■ 施工管理関係									
<input type="checkbox"/> 盛土の締固、場所打ち杭や既製杭の施工高さ等の施工に関する工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 施工計画書及び写真管理等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
■ その他									
<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
記述評価	評点: _____点	【創意工夫の詳細評価】							
【レマクを付したキーワードについて、評価内容を詳細記述】	※・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+14点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	_____ _____ _____ _____							

創意工夫においては「4 高度技術」の審査項目において評価するほどでもないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき利益があれば加点・抽出記載する。

「2 施工状況」「3 出来形及び出来栄」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引立たせるため本審査項目でも再評価する。

創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。

キーワードの評価(選定)及び記述評価は、課内協議をもって記述する。

「高度技術」との二重評価はしない。

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。		(総括監督員)				
調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	<input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 関連工事および隣接工事との積極的な工程調整を行いトラブルを回避し、円滑に工事を行った。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行うなど、トラブルも少なく余裕をもって工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 休日を確保する及び決められた施工時間を遵守するなど、適切な人員管理と工程管理を行い地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 工事看板、ピラ等で工期、施工時間の地元周知を適正に行い、地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 元請負者の配置技術者および現場代理人の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） ※ 該当項目 3 以上・・・・・・ a 該当項目 2 以上・・・・・・ b 該当項目 1 以下・・・・・・ c	<input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。			
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定					
	III. 安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない場合	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
	<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制(統括・元方安全衛生管理者・安全委員会・衛生委員会・安全衛生委員会等)を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動(月当り半日以上安全研修・訓練等、工事期間中の安全巡視等、安全朝礼・KY・安全点検など日々の安全活動等)を行っている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動(関係請負人が参加する組織)に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全への取り組みが地域から評価されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） ※ 該当項目 4 以上・・・・・・ a 該当項目 2 以上・・・・・・ b 該当項目 1 以下・・・・・・ c	<input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。	<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。			
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する 判定					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

(総括監督員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c
6. 社会性等	1. 地域への 貢献度	地域への貢献が非常に優れている <input type="checkbox"/> 河川、水路等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救助活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）	地域への貢献がやや優れている	他の項目に該当しない場合
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">判定</div>	※ 該当項目 3 以上 a 該当項目 2 以上 b 該当項目 1 以下 c		

1. 地域への貢献度とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。（該当工事以外の貢献は評価の対象としない）
2. 評価では「4.高度技術」および「5.創意工夫」との二重評価としない。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(総括監督員)

審査項目	評定点数	-10	-5	-4	-3	-2	-1	点数
8. 法令遵守等	適応事例 施工体制台帳や施工体系図と現場が一致していなかった	<input type="checkbox"/> 総括監督職員が改善指示を行ったが改善されなかった	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの度重なる改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの改善指示により速やかに改善された			点
	配置技術者の資格・雇用・資質等に問題があった	<input type="checkbox"/> 総括監督職員が改善指示を行ったが改善されなかった	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの度重なる改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの改善指示により速やかに改善された			点
	入札前に提出された配置技術者等が配置されていない	<input type="checkbox"/> 総括監督職員が改善指示を行ったが改善されなかった	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの度重なる改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの改善指示により速やかに改善された			点
	監督職員の承諾なしに施工計画と異なる施工をした	<input type="checkbox"/> 総括監督職員が改善指示を行ったが改善されなかった	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの度重なる改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの改善指示により速やかに改善された			点
	品質管理・出来形管理が適正に行われなかった		<input type="checkbox"/> 品質・出来形のばらつきや不合格品が多く、大幅な手直しがあった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質・出来形のばらつきや不合格品があり、多少の手直しがあった			点
	設計図書と不適合の箇所があった	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った						点
	安全対策の不備による事故、災害等で、事後処理が不適切であった	<input type="checkbox"/> 請負者の責による事故、災害等で、事後処理が不適切であった	<input type="checkbox"/> 請負者の責によらない事故、災害等で、事後処理が不適切であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 請負者の責による事故、災害等で、原因究明、再発防止等の事後処理が適切であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 請負者の責によらない事故、災害等で、原因究明、再発防止等の事後処理が適切であった	点
	過積載車両の使用が確認された		<input type="checkbox"/> 正・主任監督職員からの度重なる改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 過積載車両が度々確認され、正・主任監督職員からの改善指示により改善された	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 過積載車両が確認されたが、正・主任監督職員からの注意により改善された	点
その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	その他 () <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	点	
工事の施工にあたり、上記適応事例の事実を監督職員が確認し、工事担当課として対応した場合に総括監督員が減点評価を行うこととし、減点は最大20点までとする。 各項目の評定点は、事例の内容に応じて補正することができる（-4又は-2点）。 適応事例の適応範囲は次のとおりとする。 (1) 当該工事請負契約書の履行に関することに限定する。 (2) (1)を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従業員及び(1)を履行するために下請契約をし、その履行をするために従事する者に限定する。								評点
								点

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から4号に係わる設計図書の照査を行い、設計図書と工事現場の状態が異なる場合、設計図書の表示が不明確な場合、設計図書に示された施工条件が実際と一致しない場合、工事の施工条件について予期し得ない特別の状態が生じた場合等においては書面で監督職員に通知し監督職員の確認を受けて施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整備に工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 段階確認・立会確認が適時適正に行われ、かつ「段階確認書」、「立会確認書」と「確認内容が把握できる写真」による報告が適時適正になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適正で、提出書類等が適時適正に提出されている。 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容および現場条件を反映したのものとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。 <input type="checkbox"/> 請負者として現場を把握し、検査時に対応を現場代理人等が行った。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査職員から文書により指示を行った。 上記1項目該当事項があれば d 2項目以上該当すれば e	
	その他が評価できる場合は、必ず理由を記入する	該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>			
	判定					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	土木工事 (維持修繕その他の工事を含む)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 出来高数量は契約数量を満たしている。 <input type="checkbox"/> 出来高数量の算出根拠は整理されている。 <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真で的確に判断出来る。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)			<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	判定	※ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが少なく規格値の50%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%以上・・・b 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、aおよびbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。			① 出来形とは、設計図書に示された工事事務物の形状寸法である。 ② 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」等の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ③ 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ④ 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ⑥ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	
	建築工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が工事写真等での確認出来る。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足している。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定されており、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 創意工夫を持って適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 材料検査が適切な時期、内容でされ監督職員の確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の圧接結果、鉄骨の溶接結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。 <input type="checkbox"/> 仕上げ塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足していた。 <input type="checkbox"/> [改修] 外壁改修の設計数量が把握され、それを示す資料があった。 <input type="checkbox"/> [設備工事も一括発注の場合] 機械設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> [設備工事も一括発注の場合] 電気設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	判定	※ 該当項目が90%以上・・・・・・・・ a 該当項目が80%以上～90%未満・・・・ b 該当項目が60%以上～80%未満・・・・ c 該当項目が60%未満・・・・・・・・ d			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	I. 出来形	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が工事写真等での確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足している。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定されており、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 創意工夫を持って適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。 <input type="checkbox"/> 機器、器具などの仕様に問題がなく、堅牢確実に取り付けられている。 <input type="checkbox"/> 異音・騒音・振動等が少なく円滑な運転が確保されている。 <input type="checkbox"/> システム、施設全体での機能確認、試運転調整が行われ、記録が整理され、検査時に確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等工場検査試験成績表、水圧・満水・気密試験成績表等が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上～90%未満・・・・ b 該当項目が60%以上～80%未満・・・・ c 該当項目が60%未満・・・・・・ d				
	判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				
	電気設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が工事写真等での確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足している。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定されており、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 創意工夫を持って適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。 <input type="checkbox"/> 通電・異臭・過熱等の異常がない。 <input type="checkbox"/> 設計値(設計図書)に定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。 <input type="checkbox"/> 現場で試験確認出来ない機器は、工場試験成績書で照合・確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場試験成績書(接地、絶縁、照度等)が提出されていること。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上～90%未満・・・・ b 該当項目が60%以上～80%未満・・・・ c 該当項目が60%未満・・・・・・ d				
	判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート 構造物工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する 判定	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中及び暑中コンクリート等を含む)。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、発生したクラックに適切な処置を行っている。 上記項目に該当があれば・・・c	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b ※ 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 法面植生工を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> 土質にあった締固め密度管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 盛土に際し、適切に伐除除根されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）				<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b ※ 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事 排水路工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充填または締固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック・石積(張)・法枠・かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類・品質・配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 根固工・水制工・沈床工・捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが適切である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)		<input type="checkbox"/> コンクリートブロック張等にクラックがある場合、発生したクラックに適切な処置を行っている。 上記項目に該当があれば・・・c	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	用排水 (コンクリート等の2次製品、柵渠)	【用排水(コンクリート等の2次製品、柵渠)】 <input type="checkbox"/> 製品の構造が設計条件を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材齢等製品強度に配慮して運搬している。 <input type="checkbox"/> 吊り上げ、吊り降ろし時の二点支持が守られている。 <input type="checkbox"/> 継ぎ目の施工は入念に行われている。 <input type="checkbox"/> 掘削床付け面の退掘がない。 <input type="checkbox"/> 基礎砂利等の転圧は適切に行われている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)				
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c				
	判定	※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ [関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質		〔評価対象項目〕 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 路床の施工に先立ち、土質・浸水等の現状の状況を適切に調査している。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。 <input type="checkbox"/> 路床の密度・支持力の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 路盤工の密度管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、発生したクラックに適切な処置を行っている。 上記項目に該当があれば・・・c	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度又は定期試験による試験練り結果報告書が提出されたものは除く) <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
	判定	【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> チェアー・タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）				
		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b ※ 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c				
		※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				
				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	<p>〔評価対象項目〕</p> <p>【工場製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由:) <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付後、測定機器のキャリブレーションを実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:) 			<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 <p>上記項目に該当があれば・・d</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 <p>上記項目に該当があれば・・e</p>
	判定	<p>※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a</p> <p>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b</p> <p>品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c</p> <p>※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質		〔評価対象項目〕 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【現場打法枠工、プレキャスト法枠工関係】 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認でき、適切に打ち込まれている。 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【張芝工、筋芝工関係】 <input type="checkbox"/> 植生材料は枯渇が無く、健全である。 <input type="checkbox"/> 植生材料が施工面に凹凸なく、密着している。 <input type="checkbox"/> 植生工を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・ a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・ b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・ c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・ e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する 判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕				

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表

(検査員)

[記入方法] 該当する項目の□を■にする。

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	[評価対象項目] 【既成杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒等)】 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度・安全度・鉛直度等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度・比重等が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力は低圧で施工していること等が施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・e
	判定	※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記達成項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ [関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事 (PC及びRCを対象)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打継目部処理が仕様書等の規定に従い実施されている。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中及び暑中コンクリート等を含む)。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> プレベラム桁のプレフレクション(荷重)管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーション(較正)が実施されている。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、発生したクラックに適切な処置を行っている。 上記項目に該当があれば・・・c	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する					
	判定	※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b ※ 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ [関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気温、湿度の条件が共通仕様書の制限を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の底部に顔料が沈殿しないようにしてから使用している。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、気泡、むら、たれ、刷毛目等の欠陥がない。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕	
	植栽工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕	
		※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	公園工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 部品の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され、良好な施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、発生したクラックに適切な処置を行っている。 上記項目に該当があれば・・・c	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	<p>〔評価対象項目〕</p> <p>【防護柵(網)設置工事】</p> <input type="checkbox"/> 車輛用柵は、所定の強度、設置場所に応じた性能を有している。 <input type="checkbox"/> 視線誘導の妨げにならない色彩であり、設置高さ・埋込み深さ等も仕様書等の規定に適合している。 <input type="checkbox"/> 歩道側に設置する場合は、ボルト・部材継ぎ目が歩行者等に危害を及ぼさない形状である。 <input type="checkbox"/> 材質は、耐候性・耐久性に優れ、維持管理が容易である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:) <p>【標識設置工事】</p> <input type="checkbox"/> 種類、様式、設置場所、寸法等が適切である。 <input type="checkbox"/> 設置高さ、基礎構造等が現地状況に応じ、仕様書等の規定に適合している。 <input type="checkbox"/> 材質は、耐候性・耐久性に優れ、維持管理が容易である。 <input type="checkbox"/> その他(理由:) <p>【区画線工事】</p> <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、路面の水分・塵を除去し、均一強固な接着の上施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、路面に作図し、箇所・延長・幅の適合確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 容融・視認性については、プライマー塗布を行い、槽の温度管理も適切である。 <input type="checkbox"/> ガラスビーズ散布時の気象状況(風)の把握、消去は塗料の除去のみで路面への影響を最小限にする等、細心な施工を心掛けている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		<p>※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c</p> <p>※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ [関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p>	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 管渠（管布設・矩形渠布設、推進、シールド）工において出来高管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 <input type="checkbox"/> 管渠に影響を与えるクラックや変形がない。 <input type="checkbox"/> 管渠において漏水箇所がない。 <input type="checkbox"/> 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がない。 <input type="checkbox"/> 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> 推進管の裏込め材料が十分充填されている。 <input type="checkbox"/> 裏込め・薬液注入において、その使用量・効果の計測、記録がなされ、空缶・空袋管理が写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、出来高管理基準を満足し、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されている。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、各部材にはクラック等がなく、漏水がない。 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。 <input type="checkbox"/> インパートは形状、勾配等が適正で、漏水がない。 <input type="checkbox"/> インパートは、その表面仕上げが適切である。 <input type="checkbox"/> 柵の天端は周辺地盤になじんでおり、土地境界石、その他周辺の復旧仕上りが良い。 <input type="checkbox"/> 柵の取り付け管は、理由のない屈曲や、目立った沈下がない。 <input type="checkbox"/> 施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。 <input type="checkbox"/> 掘削時の土留め方法や、推進時の掘削方法による、周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がり状態が良い。 <input type="checkbox"/> 縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b ※ 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				
	判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕				

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	水道施設工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
II. 品質	水 道 設 施 工 事 其 他 が 評 価 出 来 る 場 合 は 必 ず 理 由 を 記 入 す る	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施され写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 管及び弁栓類等の付属設備の布設及び接合が適切に施工され漏水がない。 <input type="checkbox"/> 防食・絶縁処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 全体の敷設状況（年号テープ）が確認でき、規定の土被りが確保されている。 <input type="checkbox"/> 曲管部、分岐部の施工状況が確認でき、適切な処理がされている。 <input type="checkbox"/> 給水管の分岐、接続が基準どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 掘削部分の施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 埋設表示シートの確認ができ、適切な方法で施工されている。 <input type="checkbox"/> 保護砂・碎石の埋戻しが確認でき、適切な方法で施工され、また、工事完成後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 舗装仮復旧工が確認でき、適切な方法で施工されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）	<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。	上記項目に該当があれば・・・d	上記項目に該当があれば・・・e
	判定	※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

調査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事 (新築)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 【躯体工事】 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画により品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 【仕上げ他工事】 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画により品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 〔設備工事を含む場合〕機械設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> 〔設備工事を含む場合〕電気設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	建築工事 (改修)	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画により品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 〔設備工事を含む場合〕機械設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> 〔設備工事を含む場合〕電気設備工事欄の評価項目の達成項目がC以上である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） ※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 【機材】 <input type="checkbox"/> 機材の品質が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現場機器が機器承諾図通りに製作されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【施工】 <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試験運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 隠蔽、埋設箇所等の不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） ※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . . . b 該当項目が 60%以上80%未満 . . . c 該当項目が 60%未満 d			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					
	電気設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	〔評価対象項目〕 【機材】 <input type="checkbox"/> 機材の品質が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現場機器が機器承諾図通りに製作されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【施工】 <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試験運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 隠蔽、埋設箇所等の不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 各施工段階における状況が、明確に判断できるように整理されている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） ※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 . . . b 該当項目が 60%以上80%未満 . . . c 該当項目が 60%未満 d			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持修繕工事 (関連基準によりばらつき の判断をする 場合) その他が評価 出来る場合は、必ず 理由を記入する	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> □ その他（理由： _____） ※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が90%以上・・・a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が70%～90%未満・・・b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない・・・c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕				
		a	b	c	d	e
	維持修繕工事 (規格値によりばらつき の判断をしない 場合) その他が評価 出来る場合は、必ず 理由を記入する	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> □ その他（理由： _____） ※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
判定		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の□を■にする。

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	解体工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 解体工法・手順に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた解体計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 廃材の分別・保管に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 有害物の処理が適切になされている。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
II. 品質	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 該当項目が 90%以上 a 該当項目が 80%以上90%未満 b 該当項目が 60%以上80%未満 c 該当項目が 60%未満 d				
判定		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				
		a	b	c	d	e
	合併工事又はその他の工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きく監督職員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣り、契約書第17条2項(31条2項を含む)に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	その他が評価出来る場合は、必ず理由を記入する	※ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が80%以上 a 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の80%以内かつ、上記該当項目が60%～80%未満 b 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない c ※ 規格値によるばらつき判断をしない場合は評価対象項目のみで判定する。				
判定		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ()評価数 / ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤ 〔関連基準：土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕				

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の を にする。

調査項目	工種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	コンクリート構造物工事 (トンネル工事を含む)	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。	コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。	他の事項に該当しない場合 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	判定				
	土工事 (盛土・築堤等工事)	仕上げが良い。 通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 全体的な美観が良い。		該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d	
	判定				
	切土工事	規定された勾配が確保されている。 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 施工面の木根等が確実に施工されている。 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 残土等は適切に処理されている。		該当6項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d	
	判定				
	護岸・根固・水制工事	通りがよい。 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 天端、端部の仕上げがよい。 既設構造物とのすりつけがよい。		該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d	
	判定				
舗装工事	舗装の平坦性が良い。 構造物の通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 雨水処理が良い。 全体的な美観が良い。		該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d		
判定					
鋼橋工事(堰、水門等工場製作を含む)	表面に補修箇所がない。 部材表面に傷、錆がない。 溶接に均一性がある。 塗装に均一性がある。 全体的な美観が良い。		該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d		
判定					
法面工事	通りが良い。 植生、吹付等の状態が均一である。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。		該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d		
判定					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

〔記入方法〕 該当する項目の を にする。

審査項目	工種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。	他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い	
	判定	土工関係の仕上げが良い。 通りがよい。 端部、天端仕上げが良い。 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。	該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d		
	コンクリート橋工事	コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。	該当6項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d		
	判定				
	塗装工事	塗装の均一性が良い。 細部まできめ細かな施工がされている。 補修箇所がない。 全体的な美観が良い。	該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d		
	判定				
	植栽工事	樹木の活着状況が良い。 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 植栽帯の全体的な美観が良い。	該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d		
	判定				
	公園工事	施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 舗装の平坦性が良い。 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 維持管理等の配慮が良い。 全体的な美観が良い。	該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d		
判定					
防護柵(網)工事	通りが良い。 端部処理が良い。 部材表面に傷、錆がない。 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。	該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d			
判定					
区画線工事	塗布の均一性、視認性が良い。 密着状態が良い。 清掃が入念に実施されている。 全体的な美観が良い。	該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d			
判定					
標識工事	設置位置に配慮がある。 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 標識板、支柱に変色がない。 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 全体的な取扱いがしやすい。	該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d			
判定					

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目 の 考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

(記入方法) 該当する項目の を にする。

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ 出来ばえ	下水道工事	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い 仕上げが良い。 通りが良い。 付属構造物の肌が良い。 付属構造物の通りが良い。 既設構造物のすりつけが良い。 埋戻し及び路面復旧の状態が良い。		他の事項に該当しない場合 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以上 d	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
	判定				
	水道施設工事	弁栓ボックスの据付及び表示プレートの設置が適正であり、蓋等にガタツキがなく、路面とのすりつけが良好である。 舗装復旧において、既設舗装との段差がなく、全体的に仕上がりが良い。 鉄蓋類の表面及び弁室等の内部の仕上がりが良い。 給水施設の仕上がりが良い。 付属設備の仕上がりが良い。		該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d	
	判定				
	建築工事 (新築)	建築物の通り、形状が良い。 仕上げの均一性、平坦性が良い。 機能面での配慮が適切である。 防水の納まりが良好である。 建具の取り付け、作動が良い。 舗装の平坦性が良好である。 関連工事との取り合いが良い。 全体的な美観が良い。		該当7項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上 c 該当3項目以上 d	
	判定				
	建築工事 (改修)	きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりがよい。 既存部分や関連設備工事との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 仕上がりの状態が良好である。		該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d	
	判定				
機械設備工事	主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。 関連工事との取り合いがよい。 製作上の補修痕跡がない。 全体的な美観がよい。		該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d		
判定					
電気設備工事	構造物等にきめ細やかな配慮がなされている。 公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。 関連工事との取り合いがよい。 製作上の補修痕跡がない。 全体的な美観がよい。		該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以上 d		
判定					
維持修繕工事	小構造物にも細心の注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。		該当3項目以上 a 該当2項目以上 b 該当1項目以上 c 該当項目なし d		
判定					

「施工プロセス」のチェックリスト

- 1. 工事名
- 2. 工期
- 3. 施工業者

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

部 課 名 : _____ 部 _____ 課 _____

正 監 督 員 名 : _____

「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督職員等が確認する。
 該当する対象確認項目については、工事担当課内の合議をもって決定するものとする。
 チェック欄は、書類もしくは現場等でその内容を確認してOKであれば にレマークを入れて確認年月日を記入し、OKでなければ指摘事項等や改善状況を記入する。
 用語の定義について、契約後：当初契後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	細 別	対 象	チ ェ ッ ク リ ス ト ー 覧 表 (チェックの目安)	チ ェ ッ ク 欄	工 期 内 に お け る 監 督 職 		
					指 摘 事 項 又 は 改 善 指 示	(改 善 を 指 示 し た 月 日)	指 摘 事 項 等 の 改 善 状 況
1	請負代金 内訳書	契約締結後7日以内に、所定の様式で提出された (契約後、変更後)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
	契約工程表	契約締結の7日以内に、契約工程表が提出された (契約後、変更後)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
	工事カルテ	事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内に登録された (契約後、変更後、完成後)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
	品質証明	工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により提出した (検査の前等)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
	品質証明	品質証明に関する資料を書面で提出した (契約後、変更後)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
(/)			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
建退共等	掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した (契約後、増額変更後)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
建退共等	「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示されている (施工中、1回程度)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
建退共等	労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示されている (施工中、1回程度)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期内における監督職員からの指摘事項等及び改善状況				
						指摘事項又は改善指示	（改善を指示した月日）		指摘事項等の改善状況	
1 施工体制	施工体制	施工体制台帳		施工体制台帳が現場に備え付けられかつ同一のものが提出されている (施工時の当初、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
				(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
		施工体制台帳に下請負契約書(写)及び再下請負通知書が添付されている (施工時の当初、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		施工体制台帳に、下請負金額が記入されている (施工時の当初、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
	施工体系図	施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている (施工時の当初、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		施工体系図に記載の無い業者が作業していない (施工中 1回/月程度)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
	元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している (施工時の当初、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
建設業許可標識		建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、監理(主任)技術者が正しく記載されている (施工時 1回程度)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
配置技術者/現場代理	現場代理人	現場代理人は現場に常駐し、工事全体の把握ができています (施工時 1回/月程度)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
	現場代理人は、監督職員との連絡調整を適切に行っている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
専門技術者の配置	建設業法第26条の2に定める専門技術者を専任し配置している (施工計画時、施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期における監督職員からの指摘事項等及び改善状況				
						指摘事項又は改善指示	(改善を指示した月日)	指摘事項等の改善状況		
								改善された(/)	改善されない	
1	施工体制	作業主任者の選任		現場作業において、労働安全衛生規則に定める作業主任者を配置している(労働安全衛生法第14条)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
				(施工計画時、施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
					(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
		監理(土工)技術者の専任制			監理技術者資格者の会社名、工種区分、期限裏書きによる変更内容を確認した(着手前)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					配置予定技術者、通知による監理技術者、施工体制台帳に記載された監理技術者と監理技術者証に記載された技術者及び本人が同一であった(着手前)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					現場に常駐していた	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					(施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					施工計画や工事に係る工程、技術的事項を掌握し、主体的に係わっていた	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					(施工時、打ち合せ時)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		監理技術者の対応			施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					(施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		現場技術者			現場技術員との対応が適切である	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					(施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		下請負者の把握			下請負者が宇治市の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
					(施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
						(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		2	施工管理	設計図書 の照査等		契約書第18条第1項第1号から第4号に係わる設計図書の照査を行っている	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
						(着手前、施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない
現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた	(/)					(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
(着手前、施工時適宜)	(/)					(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
	(/)					(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
	(/)					(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期内における監督職員からの指摘事項等及び改善状況		
						指摘事項又は改善指示	(改善を指示した月日)	指摘事項等の改善状況
2	施工管理	施工計画書	施工(変更を含む)に先立ち、提出された (着手前、変更時)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
				(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない	
		記載内容と現場施工方法と一致している (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
		記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
	記載内容が、現場条件等を反映している (着手前、変更時)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない			
	施工管理 ・ 工事材料管理 ・ 出来形 品質管理 ・ 材料見本 工事記録写真 ・ イメージ アップ	工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
		自社の管理基準を持ち、その管理基準により社内検査が完了していることが書面で確認出来る (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
		日常の出来形、品質管理が適時・的確に行われている (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
			(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない		
工事記録写真または見本等の整理に工夫がみられる (施工時適宜)		(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない			
特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み又、地域等より評価されるものがある (イメージアップ事例) 絵パネル・標語パネル・フラワーボット・作業員休憩棟・記念植樹・安全旗掲揚・現場事務所カーペットフロアー・冷暖房・二重サッシ・会議室・雨具掛室・観葉植 (施工時適宜)	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない				
	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない				
	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない				
	(/)	(/) (/) (/)	改善された(/)	改善されない				

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期内における監督職員からの指摘事項等及び改善状況					
						指摘事項又は改善指示		(改善を指示した月日)		指摘事項等の改善状況	
2	施工管理	検査(確認を含む)及び立会等の調整	適切な時期に監督職員の立会いを求めている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
		段階確認の確認時期が適正である (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
	工事の着手	工事開始日後、30日以内に工事に着手した (着手時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
	建設副産物及び建設廃棄物	産業廃棄物等処理計画書、処理契約の写しが提出された (施工着手前)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
		請負者は、産業廃棄物管理表(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
			(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
	再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した (施工着手前)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
指定建設機械類の確認	実施書の報告を受けた (施工後)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
指定建設機械類の確認	指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械)を使用している (施工時 1 回程度)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		
		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない		

「施工プロセス」のチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期内における監督職員からの指摘事項等及び改善状況				
						指摘事項又は改善指示	（改善を指示した月日）		指摘事項等の改善状況	
2 施工状況	工程管理	工程管理		定められた施工時間帯の変更や休日又は夜間の作業について、あらかじめ承諾願いを提出した（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				機械、人員等を現場の進捗の実績を基に変更するなど、工程の管理を行っている（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				条件変更への対応、地元調整を円滑に行い、工事の進捗を図った（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				作業員の休日の確保を行った（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
	安全対策	安全活動		活動記録が整備されている（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				店社パトロールを実施し、記録が整備されている（施工時 1回/月程度）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				安全訓練等を実施し、記録が整備されている（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				施工現場の安全巡視の記録、作業前安全打ち合わせ（Tool Box Meeting）、危険予知(KY)の記録がある（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				新規入場者教育を実施し、記録が整備されている（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				過積載防止に取り組んでいる（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
				使用機械、車輛等の点検整備等が管理されている（施工時適宜）	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない

「施工プロセス」のチェックリスト

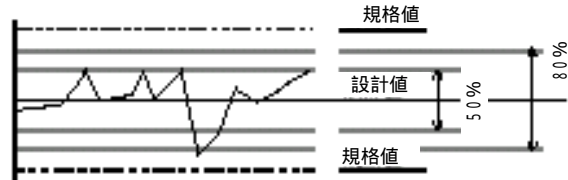
調査項目	細別	確認項目	対象	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄	工期内における監督職員からの指摘事項等及び改善状況				
						指摘事項又は改善指示		指摘事項等の改善状況		
						(改善を指示した月日)				
2	安全対策	安全活動		保安施設や足場などが設置管理されている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
		安全パトロールの指摘事項の処理		各種安全パトロールで指摘事項や是正事項があった場合は速やかに改善を図り、かつ関係者には正報告した記録がある (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
	対外関係	関係機関等		関係官公署等の関係機関との折衝及び調整を適切に行っている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
					(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない
			地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対応を適切に行っている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
				(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
				(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない	
	隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行っている (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			
		(/)	(/)	(/)	(/)	改善された(/)	改善されない			

【記入方法及び留意事項】

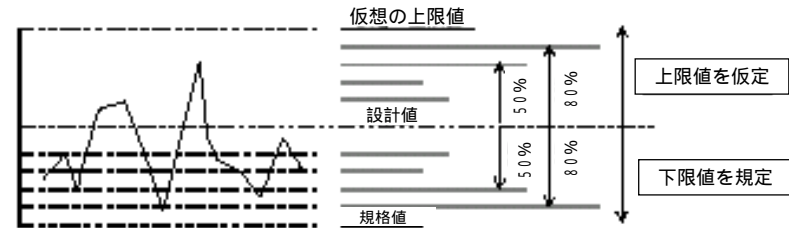
1. 出来形及び品質のばらつき考え方

〔管理図の場合〕

〔上・下限値がある場合〕



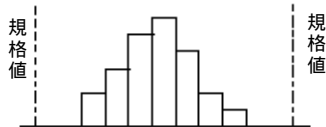
〔下限値のみの場合〕



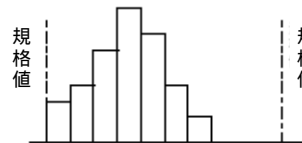
上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕

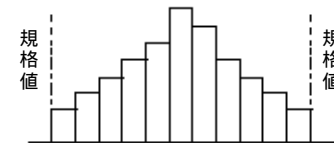
〔ばらつきが大きい〕



〔ばらつきが少ない〕



〔ばらついている〕



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) 評定は「合併工事又はその他の工事」欄を活用する。
- (3) コンクリート橋については、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3. その他

- ・「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。
- ・「4. 技術力の発揮」「5. 創意工夫と熟意」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況（土木工事）

工事名		請負者名	
項目	評価内容	備考	
高度技術 工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力	構造物固有	対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚さやトンネル線形等を含む） 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	
	技術固有	工種及び工法の特異性 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用	
	自然・地盤条件	湧水の発生・地下水の影響（地盤掘削時） 軟弱地盤、支持地盤の状況 工事用道路・作業スペース等の制約 雨・雪・風・気温等の影響 地滑り等の地質条件、急流河川での水流の影響、動植物等に対する配慮等	
	周辺環境等、社会条件	地中埋設物等の地中内の作業障害物 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線、使用中の道路、架空線、建設物等の近接物 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 生活道路を利用する資材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下、高架下等の作業スペース制約 現道上で特に交通規制及びその処理に伴う作業 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等	
	現場での対応	災害等での臨機処置 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等	
	その他	その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項	
創意工夫 「高度技術」で評価するほどでない軽微な工夫	準備・後片づけ	測量・位置出しにおける工夫	
	施工関係	施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 部材、機材等の運搬、吊り方式等を含む施工方法等の工夫 設備工事での、加工、組立等の工夫又は電気工事の配線、配管等での工夫 給排水、衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 照明、視界確保等の工夫 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 運搬車両、施工機械等の工夫 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮施工関係の工夫 施工管理及び品質向上等の工夫	
	品質関係	集計ソフト等の活用と工夫 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来高、品質等） 鉄筋、P Cケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 配筋・溶接作業等に関する工夫	
	安全衛生関係	安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 供用中の道路等の事故防止、一般車輛突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等の工夫 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	
	施工管理関係	盛土の締固、場所打ち杭や既製杭の施工高さ等の施工に係る工夫 施工計画書及び写真管理等の工夫 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫 C A D、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用	
	その他		
社会性等 地域社会や住民に対する貢献	地域への貢献等	河川、水路等の環境保全を具体的に実施した。 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動へ積極的に参加し、地域に貢献した。 災害時等に地域への援助・救助活動に積極的に協力した。	

1. 該当する項目の に✓ マークを記入。
2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況（建築・設備工事）

工事名	請負者名	
項目	評価内容	備考
高度技術 工事全体を 通して他の 類似工事に 比べて、特 異な技術力	施工規模	対象構造物の高さ、施工面積等の規模 対象構造物の形状の複雑さ
	構造物固有	対象構造物の耐震レベル 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事
	技術固有	工種及び工法の特異性 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用
	自然・地盤条件	湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） 軟弱地盤、支持地盤の状況 工事用道路、作業スペース等の制約 雨・雪・風・気温等の影響
	周辺環境等、社会条件	地中埋設物等、地中の作業障害物 工事の影響に配慮すべき鉄道、使用中の道路、架空線、建築物等の近接物 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 現道上で特に交通規制及びその処理が伴う作業 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等
	現場での対応	災害等での臨機処置 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等
	その他	その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項
	創意工夫 「高度技術」で評価 するほどで ない軽微な 工夫	準備・後片づけ
施工関係		施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 部材、機材等の運搬、吊り方式等を含む施工方法等の工夫 設備工事で、加工、組立等の工夫又は電気工事の配線、配管等での工夫 給排水、衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 照明、視界確保等の工夫 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 運搬車両、施工機械等の工夫 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮施工関係の工夫 施工管理及び品質向上等の工夫
品質関係		集計ソフト等の活用と工夫 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来高、品質等） 鉄筋、P C ケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 配筋・溶接作業等に関する工夫
安全衛生関係		安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 供用中の道路等の事故防止、一般車輛突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等の工夫 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫
施工管理関係		盛土の締固、場所打ち杭や既製杭の施工高さ等の施工に関する工夫 施工計画書及び写真管理等の工夫 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫 C A D、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用
その他		
社会性等 地域社会や 住民に対す る貢献		地域への貢献等

1. 該当する項目の に✓ マークを記入。
2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工事名			/
項目		評価内容	
提案内容			
(説明)			
(添付図)			

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

項目別評定点

評価項目	細別	評定点 / 満点
1 . 施工体制	. 施工体制一般	/ 7 . 0 点
	. 配置技術者	
2 . 施工状況	. 施工管理	/ 3 5 . 1 点
	. 工程管理	
	. 安全対策	
	. 対外関係	
3 . 出来形及び出来ばえ	. 出来形	/ 3 8 . 3 点
	. 品質	
	. 出来ばえ	
4 . 高度技術（加点のみ）	高度技術	/ 7 . 8 点
5 . 創意工夫（加点のみ）	創意工夫	/ 5 . 4 点
6 . 社会性等（加点のみ）	地域への貢献等	/ 6 . 4 点
7 . 法令遵守等（減点のみ）		
評定点合計		/ 1 0 0 . 0 点